

東京都立武蔵高等学校

同窓会事務所

〒180-0023

武蔵野市境南町 2-10-24

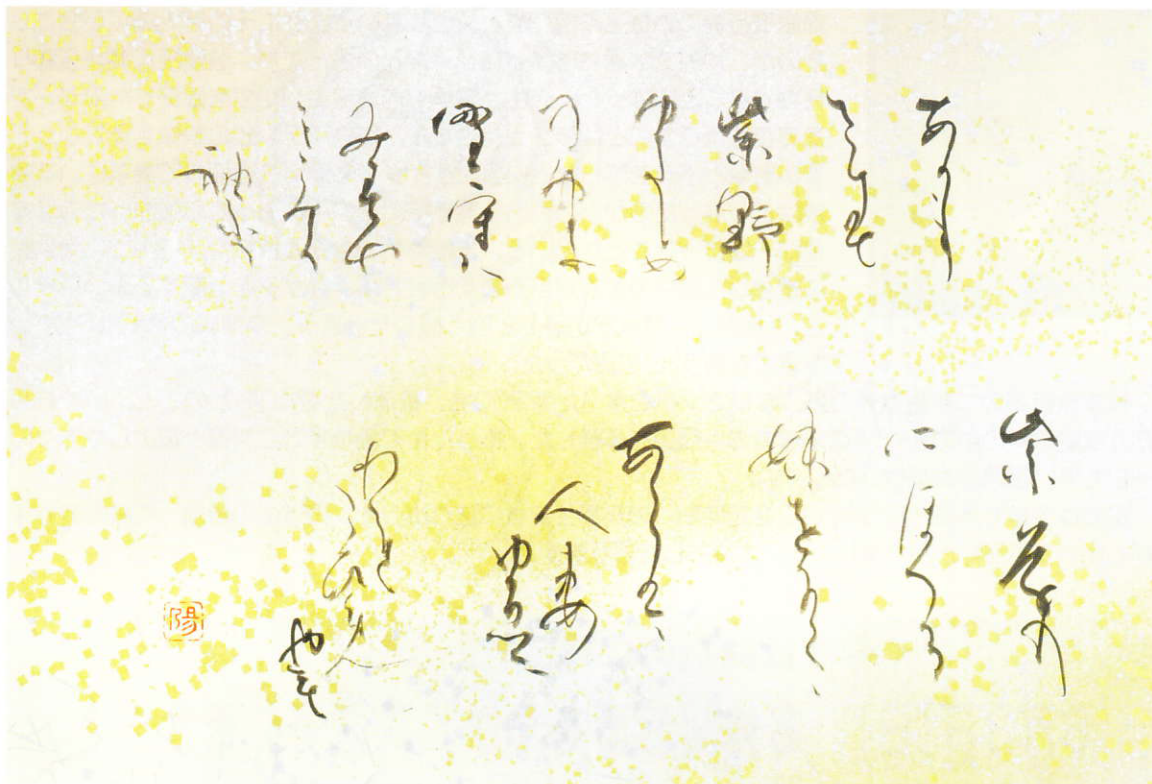
第二ときわビル2F

Tel & Fax 0422-30-9590



47

2012. 5.10



大海人皇子 額田王 宮崎 紫光 (伊山 陽子) (昭和27年3月卒4回A組)

今年のホームカミングディは24回生&44回生

今年の同窓会総会・懇親会

日 時：6月3日(日)

受付開始12時30分 総会13時30分

場 所：武蔵野スイングホール(武蔵境駅北口より徒歩2分)

アトラクション：落語 三栄亭大笑

会 費：一般会員2,000円、学生会員1,000円

新卒会員無料

出 欠：ご出席の方は、同封のハガキでお知らせください。

同窓会年会費2,000円の納入も受け付けます。

平成23年度卒業生同窓会幹事名簿

母校・武蔵高生徒の3・11体験 修学旅行中に遭遇「家族と友達の絆を実感」と卒業式の答辞

東京都立武蔵高等学校同窓会会長 土屋 正忠



今春、206名の後輩達が高校の全課程を修了して、それぞれの道に巣立っていった。今年の卒業生にとって生涯忘れられない思い出は、二年生の修学旅行中に3・11の東日本大震災に遭遇したことだ。沖縄を訪問、帰路飛行機に乗り込み飛び立とうとしていたまさにその時大震災がおこったのだ。沖縄では揺れは感じなかったとのことだが、急遽飛行機から降り待機することになった。先生が素早く前日宿泊した宿を確保したので、空港で夜を過ごすことは無かったのだが、宿舎でテレビの映像を見てかかってない衝撃と不安を感じたという。ケイタイも途切れ途切れで東京にいる家族はどうなったのかとの思いも募った。その中であって心強かったのは友達と一緒にいたことだという。また時折つながる携帯やメールで、大地震に遭遇した東京の家族が自らの安否と共に、我が子を心配する思いに接して、「自分には家族がいる」と強く感じたと言う。卒業式の言葉は「家族や友達に有難う」と感謝だった。

修学旅行中の二年生以外で当日学校で夕飯を食べた者200名、宿泊した者40名とのこと。いずれも都立武蔵の絆の中で3・11の未曾有の大震災を体験した。あらためて犠牲者のご冥福と被災した方々の一日も早い復興をお祈りいたします。

母校は今年で通算27,087名(含定時制)の卒業生を世に送り出した。同窓生の皆様、武蔵の絆で今年も総会でお目にかかりましょう。お待ちしております。

今年は同窓会に行ってみよう！！

6月3日(日)、お仲間の声をかけて武蔵境に集合！！

武蔵境のスイングホールで同窓会総会が開かれるようになって、今年は15回目。年によって増減があったものの、毎年200人以上の同窓生が集い、懇親会の会場では、懐かしい語らいの輪が、会場のあちこちに広がります。

毎年、総会終了後には楽しいアトラクションが用意されています。今年は現役時代「武蔵家大笑」として落語研究会で活躍し、卒業後も落語でボランティア活動をしている20回生I組の北田勝美(三栄亭大笑)さんが出演してくださいます。

同期会・クラス会の幹事さん、同窓会後の先生を囲んだ二次会等を企画して、皆さんに声をかけてみてはいかがでしょうか。

都立武蔵高校同窓会事務所 Tel&Fax 0422-30-9590

ホームページは「都立武蔵高校同窓会」で検索して御覧下さい。

2011年度同窓会報告

2011年6月5日、「武蔵野スイングホール」で第65回同窓会総会が開催され、11回生北川由紀の司会で始まり、議事は議長に選出された7回生山本由希によって執行されました。



議題の「10年度事業・会計報告」「11年度事業計画・予算案」は満場一致で承認されました。また2年間の任期満了に伴う役員改選も、7回生山本由希役員選出委員の提案通り可決・承認されました。

総会後のアトラクションには武蔵高校現役の吹奏楽部と合唱部が出演。会場は美しいハーモニーに包まれました。

会場をレインボーサロンに移して開かれた懇親会には150人ほどが参加して楽しいひとときを過ごし、終了後、グループごとに街に繰り出して旧交を温めたようです。

今回は、3月11日に発災した「東日本大震災と原発事故」の影響で参加者の数がやや減りましたが、高女一回生の皆さんが集まって下さり、会場を盛り上げて下さいました。



三栄亭大笑師匠の落語 演題は「三枚起請」



三栄亭大笑さんのプロフィール

20回生1組

高校在学中「武蔵家大笑」で落語研究会活動

昭和43年 都立武蔵高校

(武蔵高校演芸学部落語研究学科) 卒業

家業『北田洋服店』3代目として従事、継承

平成17年 素人落語連『調布噺の会』立ちあげ、

会長「三栄亭大笑」として落語活動再開

ごあいさつ

本業で活躍されている方の多い同窓会総会のアトラクションに私の様な者が推されるのは高齢化社会の生き方の一例で、時代は持病と上手く付き合いながら過ごす工夫と我慢に似て、噺の中にそのヒントや漢方薬的效果が有りストレス緩和になるからです。

度胸の無さで噺家の道を諦め遠ざかる事36年、菩提寺の大僧正の勧めで『調布噺の会』を作って8年、今私は毎年30～50分の噺を覚え、5月の本公演・秋の『八王子手づくり寄席』・調布市企画の柳家小さん師匠との『せんがわ寄席』・大僧正と約束した“施餓鬼法要での法話代わりの口演を10年続ける”修行(?)等の活動をしています。

その多くに華を添えてくれるのが落研後輩で寄席の世界で俗曲の第一人者柳家小菊さん(22回I組)です。恐らく彼女の膝代わりでこれ程多く真打をとれる素人噺家は私以外に無かろうと、先輩故古今亭右朝さん(19回C組)の名入り扇を手を高座を務めています。

武蔵の絆に感謝の三栄亭大笑なのです。

卓球部OB会「同球会」 50周年祝賀会と近況報告

「同球会」は昭和36年に発足し、結成50周年を迎えました。その祝賀会を2011年4月17日に武蔵野スイングホールレインボーサロンにて開催しました。当日の様子と会の近況を報告します。

祝賀会には、元顧問の中根先生と都下卓球連盟で会を支援頂いた方々を招き、卓球部OB・OGを含めて52人の方の出席を頂きました。

同球会は、卓球部OB・OGを中心に、以下の活動を行っています。毎週土曜日夕方の練習い市町村卓球連盟リーグ戦への参戦、東京卓球連盟リーグ戦への参戦、2月



お元気ですか 会員・教員の消息

同窓会アトラクションに参加して 母校吹奏楽部からのお便り

昨年の総会アトラクションにお招きした現役吹奏楽部の代表から、後日、お便りが届きました。簡潔ながら、ていねいな白筆のお手紙で感激しました。

「拝啓 蒸し暑い日々が続いておりますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。先日は都立武蔵高校同窓会にて出演させて頂き、ありがとうございました。同窓会事務局の皆様には、演奏する場を頂き本当に感謝しております。それだけでなく当日はお茶とおいしいお菓子まで頂き、誠に恐縮です。また、普段の舞台より身近にお客様を感じ、会場一体となって演奏する喜びを体感し、私たちにとってとても貴重な経験となりました。

この経験を活かし、さらに音楽を通してお客様に楽しんで頂けるよう目指し、充実した活動を行っていきたくと考えております。今後ともどうぞ宜しくお願いいたします。

敬具

都立武蔵高等学校・附属中学校吹奏楽部
代表 浅野 泉季



また、副顧問の吉岡史郎先生からも鄭重な御礼状を頂戴しております。当日の写真を見ると、現役諸君の若さあふれるエネルギッシュな演奏がよみがえるようです。こちらこそ、ありがとうございました。

「わらべ会」活動記録を刊行

6回生の集い、還暦から50回達成

1996年1月の初詣、還暦を機に6回生の有志7名で立ち上げた集いが「わらべ会」である。昨年、活動行事が50回目を数えた。そこで活動記録の「一里塚」として、このたび行事の記録をまとめた小冊子『わらべ会』を刊行したものである。

中を開くと行事ごとの写真がズラリと並ぶ。毎年恒例の明治神宮初詣をはじめ上高地や尾瀬などへのハイキング、温泉めぐり、グルメツアー、お花見、遠くは韓国周遊まで実によく出かけている。15年で50回といえば年に3～4回は集まっていることになる。7人ではじめた集いも参加・出入自由という気安

さのせいか口コミで増え、クラスの別なく平均30～40名、最多で50名以上の参加者があり、一度でも行事に参加したことのある「会員」は100名を超えている。そして今年、17回めの新年会を迎えた。継続は力なり、を实践するタフな「わらべ会」ではある。次の一里塚に向かって今後の息の長い活動が期待される。

<table border="1"> <thead> <tr><th>級</th><th>A</th><th>B</th><th>C</th><th>D</th><th>E</th><th>F</th><th>計</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>子</td><td>2</td><td>3</td><td>2</td><td>1</td><td>3</td><td>1</td><td>12</td></tr> <tr><td>子</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>2</td><td>1</td><td>7</td><td>3</td></tr> <tr><td>子</td><td>17</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>2</td><td>1</td><td>7</td></tr> </tbody> </table>	級	A	B	C	D	E	F	計	子	2	3	2	1	3	1	12	子	1	2	3	2	1	7	3	子	17	1	2	3	2	1	7	<p>重なるには 老婆なりと 伝え聞か 集まりし友 和が輪となりて</p>	<table border="1"> <thead> <tr><th>級</th><th>A</th><th>B</th><th>C</th><th>D</th><th>E</th><th>F</th><th>計</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>子</td><td>5</td><td>5</td><td>3</td><td>5</td><td>2</td><td>20</td></tr> <tr><td>子</td><td>5</td><td>1</td><td>1</td><td>5</td><td>3</td><td>10</td></tr> <tr><td>子</td><td>12</td><td>5</td><td>5</td><td>1</td><td>4</td><td>10</td></tr> </tbody> </table>	級	A	B	C	D	E	F	計	子	5	5	3	5	2	20	子	5	1	1	5	3	10	子	12	5	5	1	4	10	<p>香春は 離れて遠く 眩しげり 今日の山里 その夢舞台</p>
級	A	B	C	D	E	F	計																																																									
子	2	3	2	1	3	1	12																																																									
子	1	2	3	2	1	7	3																																																									
子	17	1	2	3	2	1	7																																																									
級	A	B	C	D	E	F	計																																																									
子	5	5	3	5	2	20																																																										
子	5	1	1	5	3	10																																																										
子	12	5	5	1	4	10																																																										
<table border="1"> <thead> <tr><th>級</th><th>A</th><th>B</th><th>C</th><th>D</th><th>E</th><th>F</th><th>計</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>子</td><td>5</td><td>2</td><td>3</td><td>2</td><td>12</td></tr> <tr><td>子</td><td>2</td><td>1</td><td>1</td><td>3</td><td>2</td><td>9</td></tr> </tbody> </table>	級	A	B	C	D	E	F	計	子	5	2	3	2	12	子	2	1	1	3	2	9	<p>尾瀬ヶ 木道路 花もみ 逃さぬ こぼれ</p>																																										
級	A	B	C	D	E	F	計																																																									
子	5	2	3	2	12																																																											
子	2	1	1	3	2	9																																																										

昨日・今日—近頃の私…

(平成元年卒・41回生B組)

地震は再び発生しても 人命は守れることを願って

武蔵高校入学時から地球科学に興味をもっており、埼玉県の私立学校(栄東高校)に勤めている今も、探究し続けています。2011年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震の津波の現地調査をするため、同年11月19日・20日に、顧問をしている理科研究部で、三陸地方から仙台平野を訪れました。(写真は、現地調査に参加した高校2年生が撮影したものです)。被災地を視察して、「今後大きな地震を経験しても、今回のような震災は繰り返したくない」と強く感じました。今後の防災(減災)を願い、現地で学んだことや、そこから考えられる「知的備え」を述べます。

写真(下)は、高さ10mの防潮堤が全長2km余りにわたって町を覆っていた田老地区の被害です。津波によって防潮堤は大きく破損し、白い建物(たろう観光ホテル)は2階まで鉄骨の土台を残し流出、3階まで浸水しています。建物の右側には、高所へ続く道が見られます。このように、三陸地方のようなリアス式海岸では、海から比較的近くに高所があります。調査を進めていくと、田老地区以外にも大船渡市や釜石市など、防潮堤が破損して内陸部まで津波が押し寄せた地域が多数ありました。「津波いろは歌留多」(盛岡地方気象台・宮古測候所、1957年)に、「(ほ)防潮堤への、過信は禁物」があり、今後への教訓の1つと言えます。



三陸地方(岩手県宮古市)

写真(関上地区)(右下)は、近くに高台が無い平野部の被害の特徴を物語っています。リアス式海岸と比べて、海岸から内陸まで平地が続く、土台を残して家屋が流出した跡が見渡す限り遠くまで広がっています。

東北地方太平洋沖地震では、岩手県や宮城県で、本震の揺れを感じてから大津波が襲来するまでの時間は30分程度でした。この程度の時間があれば、日頃からの訓練によって、人的被害を0にできます。なお、過去には本震発生直後に大津波が到達した事例(震源が陸地に近かった1993年北海道南西沖地震など)もあり、1分1秒を大切に速やかに避難してほしいです。

防災(減災)を考える上では、歴史地震(過去に大きな被害をもたらした地震)を詳しく学ぶことも有意義です。東北地方の太平洋側では、過去にも繰り返した津波の被害を経験しており、その教訓を後世に残そうと、多く

の石碑が建てられました。

写真は、岩手県釜石市片岸町の石碑で、近づいて見ると「大地震の後は津波が来る」と明記されています。1933年に発生した昭和三陸地震では、地震による強い揺れに続いて大津波が押し寄せたため、その教訓を碑文として刻印したのです。写真(左)は、同市唐丹町(本郷)の石碑で、上部に「海嘯遭難記念之碑」と刻印されています。1896年に発生した明治三陸地震は、地震による揺れは小さかった(最大震度が3以下)にもかかわらず、大津波が発生し、岩手県綾里村(現 大船渡市)では38mの高さを記録しました。小さな揺れであっても、その周期が長い場合や長時間(20秒以上)継続する場合には注意を払いたいです。



左 明治三陸地震(1896年)による津波の石碑

右 昭和三陸地震(1933年)による津波の石碑

日頃の備えとして、非常用飲食物や懐中電灯と合わせ、携帯用ラジオも常備しておく、停電になっても情報が入り手できます。「津波いろは歌留多」に、「(め)面倒だと思ふな、親子の防災対話」があります。「緊急時にはそれぞれが自分自身の責任で行動し、避難先で無事を確認しあうこと」(自助)を申し合わせておけば、お互いの避難の遅れを防げます。また、「病人やお年寄りを緊急時に避難させる方法」(共助)についても話し合っておく必要があります。

4つのプレートが分布する日本列島では、いつでもどこで地震が発生しても不思議ではありません。一方で我々は、美味しい海の幸や美しい海辺の風景など、自然の恩恵に囲まれて日常生活を営んでいます。これからも、地球科学を学び続けて、豊かな自然と向き合い、共存していきたいと考えています。



仙台平野(宮城県名取市)取材中の筆者

大菩薩 ヒュッテ へ行こう!!



大菩薩峠より南アルプスを眺む



ヒュッテ近くに咲くクリンソウ



ヒュッテ南面



← 2011年9月に姿を見せたヒュッテの住人 (やまね) →

名称：東京都立武蔵高等学校・付属中学校 大菩薩ヒュッテ

所在地：山梨県甲州市大菩薩峠近く 標高約1,700m地点



ご利用について

利用期間：5月連休～11月第1週 原則 土・日 又は 日帰り

利用時間：曜日 15：00～ 日曜日 12：00まで

利用料金： 一人¥1,000 (主にマキ、プロパンなどの燃料代)



申込・問い合わせは 山岳部同窓会事務局まで

ヒュッテURL <http://dhutte.web.fc2.com/index.htm>

☆メールでの申込・問い合わせは件名に「ヒュッテ」と書いてください。

ヒュッテの運営費・経費は同窓会・PTA・利用料・カンパ・山岳部同窓会により賄われています。

卒業生進路一覽表

(平成24年3月30日現在)

(平成24年3月 卒業生数 男子106名 女子100名 計206名)

国公立大学	男	女	既	合計	白百合女子大学				杉野服飾大学				
北海道大学	2		1	3	聖心女子大学		2	2	聖路加看護大学		1	1	
東北大学			1	1	成蹊大学	6	5	9	20	帝京平成大学		1	1
茨城大学			1	1	成城大学			2	2	独協大学		2	2
筑波大学	2		1	3	昭和大学		2	2	城西大学	1		1	
埼玉大学	2	1		3	専修大学		3	2	5	神奈川大学	1	1	2
千葉大学	1	1		2	桐蔭横浜大学	1			1	聖徳大学		1	1
東京外国語大学		1	1	2	玉川大学			1	1	立命館大学		1	1
東京学芸大学	1	1	1	3	多摩美術大学		1	1	1	関西学院大学	1		1
東京農工大学	6		3	9	中央大学	20	10	25	55	同志社大学		1	1
東京工業大学	4		1	5	津田塾大学		3	1	4	福岡大学		2	2
東京海洋大学		1		1	帝京大学		1	1	2	文科省所管外の大学校等			
横浜国立大学			2	2	東海大学		3	1	4	国立看護大学校			
山梨大学			1	1	東京家政大学		3	3	3	短期大学			
信州大学			1	1	東京経済大学		2	1	3	静岡県立大学短期大学			
奈良女子大学		1		1	東京都市大学	2		1	3	青山女子短期大学			
徳島大学		1		1	東京女子大学		6	2	8	実践女子短期大学			
首都大学東京	5	7	2	14	東京電機大学	1	1	2	4	専修学校・各種学校等			
横浜市立大		1	1	2	東京農業大学	1	5	2	8	都立府中介護専門学校			
都留文科大学	1		1	2	東京薬科大学	1	2	1	4				
					東京理科大学	14	1	8	23				
					東洋英和女学院大学		2	2	2				
私立大学	男	女	既	合計	東邦大学	1	1	1	3				
青山学院大学	8	6	8	22	東洋大学	2	13	4	19				
麻布大学	1	2		3	日本大学	11	9	14	34				
大妻女子大学		2	2	4	日本獣医生命科学大学		2	2	2				
学習院大学		4	5	9	日本女子大学		5	4	9				
上野学園大学		1		1	産業能率大学		1	1	1				
北里大学	4	8		12	日本赤十字看護大学		2	2	2				
学習院女子大学		1		1	文教大学		1	1	2				
共立女子大学		3		3	法政大学	11	12	5	28				
杏林大学	1	5		6	星薬科大学		2	2	2				
慶應義塾大学	7	3	2	12	武蔵大学	1	1	1	3				
工学院大学	1			1	武蔵野音楽大学		1	1	1				
國學院大学	1		2	3	武蔵野大学	2	2		4				
国際基督教大学			2	2	武蔵野美術大学		2	2	2				
駒澤大学	4	3	2	9	明治大学	28	15	24	67				
実践女子大学		4		4	明治学院大学	6	7	1	14				
芝浦工業大学	8	2	2	12	明治薬科大学	4	2		6				
順天堂大学			1	1	明星大学		1	1	2				
上智大学	3	6	5	14	立教大学	4	12	9	25				
昭和女子大学		1		1	早稲田大学	10	19	13	42				
女子栄養大学		2		2	獨協医科大学	1			1				

合格者数				
	現 役		既卒	合計
	男	女		
四年制大学	191	243	187	621
文部省所管外の大学校等		1		1
短期大学		5		5
専修学校・各種学校等		1		1
合 計	191	250	187	628

注：外国の大学は文部省所管外の大学校等を含む

4年制大学合格者の内訳				
	現 役		既卒	合計
	男	女		
国公立大学	24	15	18	57
私立大学	167	228	169	564
合 計	191	243	187	621

表紙によせて 書道家 宮崎 紫光 さん

昨年7月19日より一週間、「心に沁みる女性の歌を」と題して、銀座鳩居堂画廊三、四階にて第二回個展を開きました。

私の書との出会いは、昭和21年、第十三高女に入学し、併設中学校から新制高校と六年間を過ごす中で、横山千代子先生、稲垣黄鶴先生にご指導を頂いたことでした。書の魅力にひかれ、かな書道の道ひとすじに歩いて参りましたが、平安朝の雅の世界への憧れを、現代のかな書としてどう表現するかを今も模索し続けております。

会期中は、暑い季節にもかかわらず、多くの方々がお来場下さいました。同窓の皆様方も駆けつけて下さり、木造校舎で学んだ頃が甦ったかのような、懐かしく幸せなひとときとなりました。

七十代後半まで健康で、好きな事を仕事として楽しく日々を過ごせることに感謝しています。



みやざき しこう
宮崎 紫光

昭和27年3月卒4回生A組

—現職—

(財) 毎日書道会理事、現代書道院会長、かな書道作家協会理事長

—主な書作家活動—

- ・ 著書「日常書式のしおり」
- ・ 平成18年・22年「百人一首」ふみの日切手揮毫
- ・ 平成22年「千支文字」切手揮毫
- ・ 「現代書家の名品と平成の佐竹本三十六歌仙」展出品。大英図書館寄贈
- ・ 中国、台湾、ベトナム、ドイツなどにて、毎日書道会よりかな書作品出陳
- ・ 平成24年3月14日から5月14日まで「現代日本の書代表作家バリエーション展」出陳

平成24年度 退職・転出入者名簿

卒業生総数 24,479名 住所不明者・物故者7,596名